会報
いきがい
第160号
令和３年１月１日発行

公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見４-３-１

相模原市シルバー人材センター　検索
ホームページ　https://webc.sjc.ne.jp/sagamisc/index

会員数（令和２年１２月１日現在）
３,０２８名

新年のご挨拶

理事長　山中　森勝

会員の皆様におかれては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

併せて当センターが皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りながら、事業運営が図られていることに対し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も残り３ヶ月となりましたが、本年度の事業実績は、新型コロナ禍の影響により大きな減額が予測され、会員皆様の就業にも大きな影響が出ているところです。

また、センターの要である会員の減少が続いていることは、様々の機会を通じて申し上げているところですが、１１月末現在で３，０００人強、年度末では３，０００人を割ってしまうのではないかと危惧しています。

これはコロナ禍、労働行政（定年年齢の引き上げ）の影響もありますが、会員の高齢化に伴い疾病等による退会が目立っていることがあげられます。センターでは高齢者の福祉に資する各種事業を通し、多くの方々が健康で生きがいを持って活動していただけるよう努力してまいります。

その様な中で、少しでも会員の入会促進、多くの会員が就業の機会が図られる様、相模原市と協議中ではありますが、市広報誌の戸宅配達、空き家管理事業に取り組む所存です。特に広報誌の配達には市の世帯数の９０％、約３０万世帯に配達の予定であり、多くの会員のご協力が必要と思われます。この事業は、就業中の会員の方にもお手伝いいただけると思いますので、皆さんのご協力をお願いいたします。（会報に折り込んでありますアンケートにご協力願います。）

一方、会員の皆様には常に安全就業をお願いしているところですが、今年度も事故が多発しています。昨年１１月末同期比で６件減の２３件で、内訳は傷害事故１９件、賠償事故４件となっています。傷害事故では除草作業中の車の衝突、植木剪定作業では脚立からの墜落など重篤事故（入院）が２件発生し残念に思っています。作業の開始前には安全対策を十分にしていただき、自分と家族のためにも、身の安全を守っての就業をお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まる見通しのつかない状況ですが、ＳＤＧｓパートナーへの登録はじめ、来年度に向け、職員ともども魅力のあるセンター、親しみのあるセンターを目指し、会員が笑顔で就業できるよう取り組んでまいりたいと思いますので、皆様の更なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

末尾になりますが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

理事会だより

１０月２０日（火）第４回理事会が開催されました。主な内容は次のとおりです。

１　令和３年度配分金見積単価基準改正

第１号議案では配分金単価改正について提案されました。神奈川県の最低賃金が昨年１０月に１時間あたり１，０１１円から１，０１２円に改正されましたが、センターでは配分金単価と最低賃金の差を縮小し、令和６年度までに同額とする方針であるため、最低配分金単価を９７０円から９８０円に改定する案が承認されました。あわせて、職種別に主なものとして大工・塗装は１，５００円、除草は１，０５０円に改定することが承認されました。

２　南事務所会議室改修に係る事項が承認

第２号・３号議案では南事務所の会議室改修に係る事項が提案され、承認されました。従来、リサイクル自転車作業室として使用していた部屋と、襖・障子張り作業室の改修工事を行い、今後、事業の実施や会員の会議室利用に活用されます。

３　令和２年度収支補正予算の承認

第４号議案では令和２年度収支補正予算（第１号）が提案されました。南事務所会議室改修に係る積立金の取り崩し及び執行に係る内容等が提案されました。質疑が行われた結果、承認されました。

４　令和３年度の事業計画案の協議

協議事項では、総務・事業・組織の各専門部会長から、令和３年度の事業計画案について、新たに会員へのアンケート調査の実施、女性会員拡大のための「メイクアップ講習会」の実施、「シルバーまつり」の実施等の内容が説明され、意見交換が活発に行われました。次の理事会ではこの事業計画を基に、令和３年度事業計画書及び収支予算書が提案されます。

５　一般高齢者対象アンケート調査について

また、一般高齢者対象アンケート調査について協議がされました。このアンケート調査は、会員以外の高齢者の就業意欲等を把握することを目的としたものです。実施方法としては、全会員に協力を要請し、一人の会員が会員ではない高齢者にアンケート調査を実施していただくものです。アンケート項目に一部変更を加えて実施することが確認されました。会員の皆様におかれましては、ご協力をお願いいたします。

『６０歳からのお金と働き方セミナー』開催

神奈川県シルバー人材センター連合会主催（共催：相模原市シルバー人材センター）の『６０歳からのお金と働き方セミナー』が１０月７日（水）に相模女子大学グリーンホール多目的ホールで開催されました。このセミナーはおおむね６０歳以上を対象として、シルバー人材センターへの新規入会者の獲得とイメージアップを目的として開催されました。参加者は事前に申し込んだ８１名（男５０名・女３１名）でした。

内容としては、山中森勝県シ連理事長の挨拶、シルバー人材センターの紹介、神奈川県警による特殊詐欺の手口紹介、経済アナリスト森永卓郎さんによる講演、体調管理に関する情報提供が行われました。当センターでは入口に入会相談コーナーを設け、入会案内パンフレットの配布や入会希望者の相談に応じました。

シルバー人材センターの紹介では、会員の生の声として、当センターの髙岡ミツ子さんと木村文江さんがセンターに入会したきっかけや、入会して良かったことなどの実体験を話されました。

その後、著作やテレビ、ラジオ等の出演で知られる森永卓郎さんが、『どうなる私たちの暮らし～新しい生活様式と、人生１００年時代の経済学』の演題で講演を行いました。講演では時折、参加者から大きな笑いが起き、会場は和やかな雰囲気でした。

セミナー終了後には参加者にアンケートが配られましたが、「今後、シルバー人材センターに登録したいですか」との設問には４割ほどの方が「登録したい」「検討したい」と回答されました。一人でも多くの方が入会し、新規会員の獲得につながることが期待されます。

森永卓郎さん

女性のための働き方セミナー開催

「女性のための６０歳からの働きかたセミナー」が開催されました。

このセミナーは一般市民を対象に、女性向けのセミナーとセンターの入会案内説明を行い、女性会員が活躍している仕事を紹介することで、入会促進を図ることを目的としています。

講師は三谷晃一氏（ＮＰＯ日本キャリア・コンサルタント協会前理事長）でした。会場・日時は次のとおりです。

【会場・日時】

第１回　１１月１６日（月）１４：００～１６：００
相模原シルバー人材センター中央事務所　　参加人数７名

第２回　１１月２７日（金）１４：００～１６：００
ソレイユさがみ　　参加人数３名

第３回　１２月　２日（水）１４：００～１６：００
ユニコムプラザさがみはら　　参加人数４名

第一部では、講師から「人生１００年時代に元気で長生きするコツ」について、健康寿命を伸ばすためには、

ボケ防止３原則

（１）歩くこと１日１万歩
（２）仕事をすること
（３）おしゃれを忘れないことと話されました。

そして、

（１）きょういく（**今日行く**ところがある）
（２）きょうよう（**今日用**事がある）
（３）きょうかい（**今日会**話する相手がある）と話されました。

その他、冊子に基づいた働き方改革と、行政の対応と支援についてのお話がありました。

第２部では「シルバー人材センターのご案内」として、センターの紹介、また、当センターの女性理事からセンターでの体験談、事業説明が行われました。

嘱託職員研修会を開催

コロナ禍の影響により、会員数及び受託事業が大幅に減少している中、１１月１２日（木）に嘱託職員が一堂に会した研修会を実施しました。

日ごろは、事務所ごとに業務を行っているため、全員が会する機会が無いことから、「センターの財政状況及び受託事業の拡大」をテーマに菊地原担当理事が講師となり、これからのセンターが歩む道などを、資料を基に説明しました。

また、配分金見積単価の設定についても、それぞれの事務所で異なる判断をした場合の影響等について、事例を交えながら分かりやすく説明されました。今回の研修会をセンター事業の発展に生かしていただきたいと思います。

いきがいの仲間たち

山田朱織枕研究所で就業する坂巻さん
【中央ブロック】

１６号線沿いの１６号整形外科の２階にある（株）山田朱織枕研究所で就業する坂巻富志子さんを取材しました。

山田朱織枕研究所ではスムーズな寝返りを打つことで最適な睡眠姿勢を保つという理念のもと、整形外科枕や首枕そしてベッドなどを考案し販売しています。

坂巻さんは首枕の中に入れるクッションを作るお仕事をされています。首枕の作り方は、２メートルぐらいのガーゼ（幅３０センチメートル）の上に日本綿を敷いて、４０センチメートルのウレタンを入れ巻き込んで閉じます。フワフワ感が良く、全部手縫いです。内職の方と２人でお仕事をされているとのことです。下を向く仕事や肩こりの方には頭の重さを軽減できるとのことです。

まだ始めてから２回目なので慣れるまでが大変だとのことです。今は、下準備をしてもらっているそうです。作業をするのに、広い場所を必要とするそうです。仕事は、金曜日の９時から１２時までです。

やりがいは、人の役に立つことと健康面でも良いし、いろいろな経験ができることと話されました。余暇は写真を趣味とし風景や花などをよく撮影されるそうです。遠方でも写真を撮りに行くとのことでした。その他絵手紙をやり、お友達もできているとのことです。

お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。（小林）

「ラフォルテ町田」の水道・電気メーターの検針業務に就業する関口さん
【南ブロック】

「株式会社ノヴェリード」が賃貸建物管理をしている「ラフォルテ町田」（文京１丁目）は相模大野駅北口より徒歩２０分、団地入口（神奈中バス停）より徒歩２分の所にあり、４階建てビルで２０室、２店舗があります。そこで水道・電気メーターの検針業務に就業する関口路子さんを取材しました。

就業期間は令和２年９月１日から令和３年３月３１日ですが、月末１回の検針業務です。業務内容は、水道と電気の検針ですが、スマホで計器の数字が読める大きさに写真を撮り、帰宅してパソコンで写真を加工整理して報告書を作成します。その後「株式会社ノヴェリード」の担当者に送信し、確認の返信があって業務終了となります。

「写真を撮る際のピント合わせと高い位置に計器が設置されている所が２箇所あり、脚立を使用し、足元に注意を払いながら気を付けて写真を撮っています。」とのことでした。

現場での就業は実働１時間程度ですが、帰宅してからのパソコンでの作業に費やす時間が掛かるそうです。

趣味を伺うと、「３年前からあじさい大学で水彩画を習い始め、今も、サークル（１８名）という形で月２回南保健福祉センターに集い、皆さんと一緒に絵を描くことが好きで楽しいです。」と話されていました。年１回、作品を持ち寄り、ボーノ相模大野ユニコムプラザさがみはらで展示会を開催しているとのことでした。ご協力いただき、ありがとうございました。（松本）

レクリエーション農園で除草作業する小林さん
【緑ブロック】

相原公民館近くの相模原市が設置しているレクリエーション農園相原Ｃ農園で除草作業をする小林美津子さんを取材しました。市民農園は、小区画の農地を利用して、野菜や草花を栽培することにより、余暇利用や土と親しみながらの健康づくり、また農地の保全や農業に対する理解を深めるために開設しているものです。

小林さんは２年ほど前にシルバー人材センターに入会し、除草作業に就業しています。除草作業は事務所から依頼があり、見積もりをして、承認後に作業を開始します。見積もりは就業場所の草の生え方や、その面積などを見て決めるそうですが、草がとりやすいか、根が深くて取りにくいか、判断するのは経験がいる作業で素晴らしいと感じました。また、見積もりの範囲内で作業を収めるのは大変だと思いました。作業場所はお寺の庭、公園、個人宅、今回のような市の農園などがあります。

今回のレクレーション農園の作業は３日間で、時間は午前８時から午後４時３０分まで行っています。作業をしていると、農園に来る方、散歩に来る方から感謝され、にこやかに話しかけられるそうです。こうした人たちとの会話が非常に楽しいと話されていました。やはり人は人との出会い、会話をしている時が一番幸せに感じるのかと思いました。

小林さんの前職は電機メーカーの技術部で海外事業に携わっていた関係で英語と仏語が話せます。それを生かし東京２０２０オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募し、要人のアテンド（お世話をする）を担当することになっています。

他に相模原市の国際ラウンジで海外からの低学年児童の学習支援をしていますが、今はコロナ禍で支援を中断しています。家では夜、語学の学習をして更なるスキルアップを図っているとのことでした。

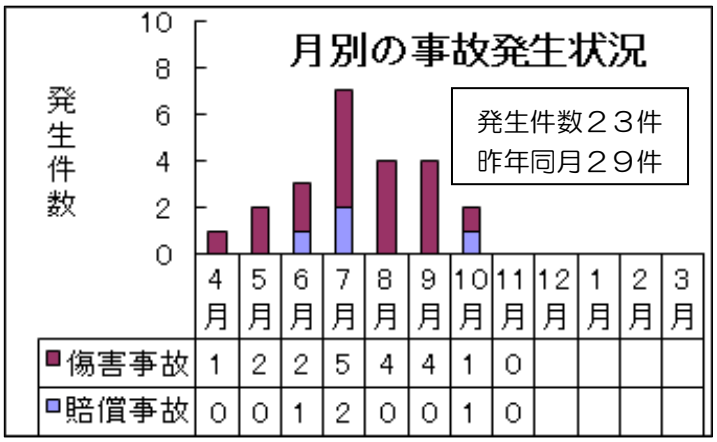
（山口）

【安全管理委員会からのお知らせ】

【就業会員の事故発生状況】

令和２年４月から１１月までの事故発生状況は全体で２３件(昨年同月２９件)と、昨年同月と比較すると６件の減少となっていますが、相変わらず高止まりの状況となっている状況です。内訳では、傷害事故が１９件(昨年度同月１５件)、賠償事故は４件(昨年度同月１４件）という状況です。

特に、１１月は、皆さんの安全意識向上により「発生事故０件」を達成しました。引続き、植木剪定作業や除草作業・清掃作業では、作業中を示す看板やカラーコーンを活用し、作業エリアの安全確保に努めてください。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
傷害事故	1	2	2	5	4	4	1	0				
賠償事故	0	0	1	2	0	0	1	0				

一方、７月から１１月末まで、就業現場にお邪魔して対策員による安全巡回を実施させて頂きましたが、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。今後共、作業の安全には十分注意して事故の無いようご協力お願い致します。

【高齢ドライバーの安全運転教室の開催】

今年度３月に開催予定です。新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限もありますので、早めの申し込みにご協力をお願い致します。詳細は、会報の折込み記事をご参照の上お申込みください。

各種講習会の開催

植木剪定講習会

例年、８月に実施される植木講習会が１０月２７日（火）から２９日（木）の３日間で行われました。

会場は淵野辺公園で、コロナ禍であることから各ブロック合同となり、３０名を超える応募がありましたが、密接を避けるため抽選による２０名での開催となりました。

講師は(株)植藤の石川先生で、２７日の午前中は座学で「シルバーとは言え、一度、仕事を受けたらプロであることを自覚してください。」などの教示がありました。午後からは刈り込みの実技講習でした。

翌日の２８日（水）～２９日（木）の２日間は、相模川河川敷近くにある(株)植藤所有の植林場で行われました。本来５年ぐらいの経験がないと松の剪定はやらせて貰えないそうですが、特別にその実技練習を行い、枝ぶりの良い立派な松に気をひきしめての講習会となりました。１日も早く、戦力になればと真剣に取り組んでおられた皆さんの姿が印象的でした。

（山川）

草刈機械操作講習会

１１月１７日（火）～１８日（水）淵野辺公園で草刈機械操作講習会が実施されました。

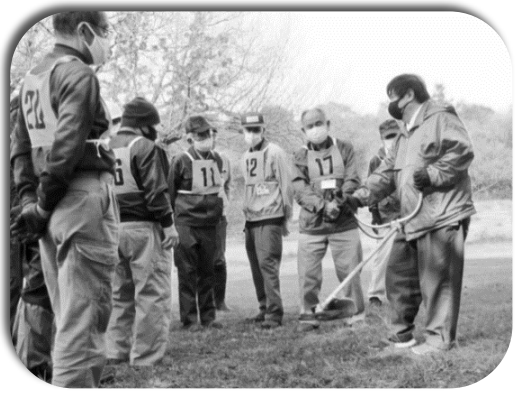
例年、７月下旬から８月初旬に行われておりましたが、今年はコロナ禍で延期となり、抽選で選ばれた２０名によるブロック合同開催となりました。

講師は株式会社ニッカリ東日本営業所長の齋藤先生で、刈払機をより安全に使うための座学がありました。

２日目は、グループごとに練習を重ね、刈払機は初めてという方もおられましたが、多くの方に技能向上が見られました。午後からは実技評価がなされ、講習会は修了しました。

後日、判定結果が郵送され、いよいよ草刈り作業のスタートとなります。皆様の安全就業とご活躍を祈念します。おつかれさまでした。

（山川）



接客・接遇講習会

１０月１４日（水）緑区、１０月１５日（木）中央区、１０月２２日（木）南区の午前９時から午前１１時３０分まで接客・接遇講習会が開かれ、全体で４１名が参加しました。講師は、教育コンサルタントの猪瀬真希先生でした。

内容は、「利用者に喜ばれる話し方・接し方」でした。コミュニケーションの大切さ、また、仕事を続けるためには、健康管理とチームワークが大切だという話をされました。

接客の心構えは、

１.感謝の気持ちを持つ
２.安心感を与える
３.公平・平等に接する
４.迅速に対応するとのことです。

with コロナ時代の接遇のポイントも話されました。

１．挨拶の距離感
２．マスクをしても伝わる笑顔と声
３．伝え方の工夫（視覚物を上手に使う）です。

講習で身に着けたことを就業に活かし、親しみのある接客をすることが期待されます。　（小林）

毛筆筆耕講習会

例年の毛筆筆耕業務の就業を希望する会員を対象とした毛筆筆耕講習会は小山荘雪（あじさい大学書道講師）先生を迎えて、８・９月に２日間に亘り開講されていました。コロナ禍のために緑・中央・南の３会場ともに今回は１０月に午前９時３０分から正午までの１回開催とし、各会場の参加定員１０名として募集しました。緑会場（１２日（月））は４名、中央会場（１９日（月））は８名、南会場（２３日（金））は５名の参加者がありました。

コロナ禍により今回は新しい様式で講習会が開講されました。講習時間の短縮により、直ぐにお手本に添って個々が宛名書きと賞状の書写に取組みました。小筆の基本的な持ち方（単鈎法、双鈎法）、宛名書き・賞状書きの書き進め方、筆使い、起筆の角度、全体の構成、文字の大きさ・形等の指導を受けながら、提出用の宛名書きと賞状書きに全集中されていました。

短い時間での毛筆筆耕講習会でしたが、それぞれの力作が出来上がったと思います。コロナの影響で、この度は少ない参加者でしたが、これを機会に就業に結び付けてほしいと思います。

（松本）

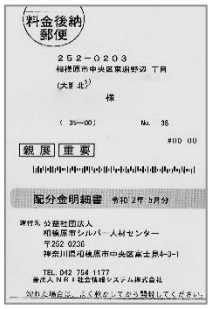
ユニコムプラザさがみはら　実習室２

Smile to Smile の利用を！

Smile to Smile は配分金明細書をパソコンやスマートフォンから閲覧できるサイトです。

センターの経費削減のためにもぜひご登録ください。

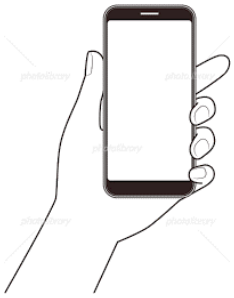
配分金明細書をパソコンやスマホで見られるようにしませんか！



配分金明細書

パソコン

または



スマートフォン

初回ログイン（利用登録）

Smile to Smile を利用するには、初回ログイン時に、メールアドレスの登録・パスワード変更を行い、利用登録の手続きを行う必要があります。
センターからログイン情報（ログインＩＤ・仮パスワード）および登録説明書を書面で郵送いたします。

電話（042-７５３-７３７３）でお申し込みください、連絡をお待ちしています。
お申し込みの際には、スマイルサービスに申し込みたい旨を伝えてください。

めぐり会いの広場

人 事 異 動

令和３年１月１日付

事務局兼南事務所	担当理事兼南事務所長	菊地原　浩二
中央事務所	主幹（業務総括）	貝渕　敏彦
事務局兼中央事務所	主事	田屋　慶太
南事務所	嘱託主事補	宮沢　ゆかり

配分金単価改定のお知らせ

来年度（令和３年度）の配分金単価について、理事会において一部改定が承認されました。
主な内容は次のとおりです。

清掃・駐輪場・自転車整理　　９８０円/時間

＊来年度４月以降の就業から適用されます。

「シルバーの日」活動を実施！

全国シルバー人材センター事業協会では毎年、１０月を事業普及啓発促進月間と定め、全国的に事業普及啓発活動を実施しています。当センターでも、各地区班で駅前や公園等の一斉美化奉仕活動を行い、センター事業の普及啓発活動を実施しました。次回も多くの方の参加をお待ちします。

読者投稿作品

川柳

空腹に　なると何でも　よく食べる
田名　畠山　義喜

春を待つ　ガラスに梅の　シール貼り
味付けは　薄目を守る　検査前
二本松　見城　マサ子

めぐり会いの広場は、皆様に「短歌・俳句等」・「私のいきがい」・「私の大事なもの」・「私のふるさと」・「私の好きな風景（写真）」の読者投稿作品を応募いたしております。

ご応募のお問合わせは、事務局までお送りください。

☎ 各事務所連絡先

＜事務局･中央事務所＞042(754)1177
＜南 事 務 所 ＞042(745)2158
＜緑 事 務 所 ＞042(783)1313
＜津久井連絡所＞042(780)1872
＜相模湖連絡所＞042(684)3126
＜藤 野 連 絡 所 ＞042(686)6505

編集後記

各種講習会が開催されましたが、女性の参加者が多く大変喜ばしい結果になりました。

国も、2019 2020年に女性活躍推進法が改正され４月以降順次施行されています。その背景には、少子高齢化により労働人口が減少していく日本において、事業を拡大・成長させるための人材確保があります。

しかし、女性が活躍するにはまだ多くの課題があります。女性の働きやすい環境をどのように整備するのか。また、男性女性ともに意識改革が未成熟といったこともあります。

男性優位の歴史は、大体、江戸時代に遡ると言われます。目を転じると、欧米では時代が下ると女性の優位性が認識され、多くの女性が多様な活躍をしています。客観的に見れば女性の方が健康寿命も永く、しなやかで能力の高い方々が多いのです。

翻って、シルバー人材センターも女性の活躍支援、各就業部門において能力の活用がなければ持続可能な未来がないのかも知れません。新型コロナに敗者復活するためにも女性の活躍が必要なのです。

編集員　山川